

# 1. 評価結果概要表

**【評価実施概要】**

事業所番号	272501016		
法人名	社会福祉法人七戸福祉会		
事業所名	グループホームクオレ七戸		
所在地 (電話番号)	〒039-2514 青森県上北郡七戸町太田野19番地4 (電話) 0176-62-5341		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 3月 10日	評価確定日	平成 20年 6月 10日

**【情報提供票より】(平成 19年 12月 1日事業所記入)**

**(1) 組織概要**

開設年月日	昭和(平成) 14年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	16人, 非常勤 人, 常勤換算 人

**(2) 建物概要**

建物構造	ユニット1:鉄筋コンクリート造り		ユニット2:木造造り
	1 階建ての		階 ~ 1 階部分

**(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)**

家賃(平均月額)	18,000・23,000 円	その他の経費(月額)	7,040 ~ 冬期12,040 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 300 円
	または1日当たり 円		

**(4) 利用者の概要( 12月 1日現在)**

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	11 名	要介護4	2 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 83 歳	最低	77 歳	最高	97 歳

**(5) 協力医療機関**

協力医療機関名	公立七戸病院、柏葉医院、石井医院、高田歯科
---------	-----------------------

**【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】**

施設全体がきれいに整えられ、職員は利用者を大切にやさしく、おだやかなケアに取り組んでおり、温もりのある生活が送ることのできる雰囲気が感じられた。また行事への参加等外へ出る取り組みがなされていた。
---

**【重点項目への取り組み状況】**

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	目配り・気配りをし、安全面に配慮し日中は鍵を掛けない対応をしている。内部研修・外部研修等へ参加し、学んだ事を皆で共有する事によりホームの在り方等知識を深めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価に取り組む、職員間で協議している。外部評価について理解し、ケアの質の向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	事業計画・事業報告をすると共に、地域の情報交換を行いサービスの向上に努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	利用者が不満や意見を話せる機会を作り、日頃の観察により問題の発見に努めている。また町の相談員が訪問し、利用者の相談にのってもらい、その都度話し合いを行っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の方々が気軽に立ち寄れるよう散歩での挨拶、声がけを心がけている。地域の行事へ積極的に参加する事により連携や関わりを強くしている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との結びつき関わり合いを考え、その人らしく生活できるように理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の会議等において全員で話し合わせ、意識共有を図っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の行事には積極的に参加している。近隣からの差し入れをもらったり、学生のボランティアを受け入れたりするなど、地域との交流も図られている。また挨拶を心がけ、結びつきを大切にしている。しかし、独自の地域貢献の一貫として認知症普及活動は行われていない。		法人内の支援センター等が開催している介護者教室等において、認知症についての説明や相談会を実施していくと共に、気軽に相談をしに来てくれるような働きかけを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価・外部評価において、改善点を職員間で話し合い、ケアの質の向上を図っている。現在のケアを見直す良い機会にもなっている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議では報告が主となっており、議題が少ないのが現状である。また、家族数名の参加はあるが、全員への会議の案内はされていない。</p>		<p>会議では評価の取り組みや参加できない方々から事前収集した意見を話し合いに生かしたり、欠席の方々にも会議録の回覧をしたりしてはどうか。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>毎月市町村の相談員が来訪され、利用者・職員の考えを聞いてもらい、共に課題解決を図っていくことでサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者・職員は勉強会を開き、これらに対し理解を十分に深めようと取り組んでいる。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を通し、虐待防止法について学んでいる。マニュアルも整備されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項説明書・契約書にそって十分に説明し、質問や疑問点を確認しながら理解を得ている。また解約時も本人・家族と施設側が話し合い、納得の上で行っている。		
10	12	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月金銭管理の状況を送付しており、定期的に便りも同封している。面会時には現状報告するほか、変化があった場合にはすぐに電話連絡を行っている。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には家族が意見を表せる機会を設けている。また苦情相談窓口を設け、それらを運営に反映させている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は利用者の精神面を考慮し、十分に検討して最小限に抑えるよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修はもとより、外部研修にも参加している。参加後は月のミーティング等で報告し、職員全体で共有している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協会に加入している事で、年2回の研修に参加し情報交換をしている。また他のグループホームの見学も行い情報交換することで、サービスの質の向上に努めている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人についての情報収集等を行うと共に、事前に体験利用(日中のみ)や見学等ができる体制作りをしている。また声がけへの反応や表情等から本人を理解し、馴染めるよう全体で取り組んでいる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者とはさまざまな場面でコミュニケーションを図り、その中で学んだり感情を共有したり「利用者中心」になるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	センター方式のアセスメントシートや、家族・知人・相談員からの情報で本人の状態把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	センター方式を活用し、本人や家族との日頃の関わりの中で思いや意見を伺い、それを全職員で共有し介護計画を作成している。		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画の期間に応じて見直しを行うが、変化が生じた場合には家族へ説明し、要望を確認しながら現状に即した介護計画を作成している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人・家族の状況に応じて、通院や送迎等の支援を柔軟に対応している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望を大切に、個々のかかりつけ医に受診し、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>契約時には十分に説明を行うと共に、早い段階で本人・家族・医師と話し合いを行っている。できる範囲で看取りケアを実践できるよう方針を立て全職員で共有している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない対応を職員間で統一している。個人情報保護法の理解にも努めている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人ひとりの気持ちを尊重し、希望にそった支援をしているが、すぐにできない事については十分に説明をし、後で対応する事で希望を叶える努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に献立を考えたり、調理や片付けをしたりと出来る部分を見出し、発揮できるよう支援している。また職員が同じテーブルを囲み、楽しく食事が出来る雰囲気作りをしている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の状況や希望に合わせて、入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を把握し、得意分野を生かせるような場面や環境作りを行い、また遠出の外出や行事等への参加で楽しみのある生活を支援している。		
28	58	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩をしたり、庭先でおやつを食べたりし、気分転換を図っている。また外食や映画等楽しむ機会を設けている。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の理解を深め、家族や全職員が協力し合い、絶対に身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	見守りやさりげない声がけなど、安全面に配慮しながら日中は鍵を掛けずに、自由に生活が送れるよう支援している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアル作成しており、年に2回(日中・夜間想定)消防署の指導のもと避難訓練を実施している。また通報訓練や消火器具の取り扱い等の訓練も行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員が栄養バランスを考え調理している。食事や水分摂取量も毎日チェック表に記入し、情報を共有し栄養摂取量の把握に努めている。また個々に合わせた工夫もしている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルをもとに予防対策(うがい、手洗い、手指消毒)を日々行い、流行している感染症に早期対応を心がけている。予防接種も実施している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロア・廊下の飾りつけや照明器具の工夫等により、明るく落ち着いた雰囲気を保てるよう心がけている。皆に共通して好まれるビデオを流し、共用空間を居心地の良い所としている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族と相談し、希望に添って居心地の良い居室作りをしている。</p>		

 は、重点項目。